

2015年2月4日
イオン株式会社
イオンアグリ創造株式会社

三重に東海エリア初のイオン直営農場 7/1（水）いなべ市に「イオン三重いなべ農場」オープン 2月4日（水）にいなべ市と「農業参入に関する協定」を締結します

都市近郊型農業や効率性の高い大規模農業のビジネスモデル確立を目指すイオンアグリ創造株式会社（以下、イオンアグリ創造）は2015年7月1日（水）、東海エリアで初となるイオン直営農場「三重いなべ農場」をオープンします。当農場のオープンにより、イオンアグリ創造の直営農場は全国で19カ所となります。

イオンアグリ創造はこれに先駆けて2月4日（水）、いなべ市と「農業参入に関する協定」を締結します。当協定の締結を契機に、20名程度の地域の方々に当農場で働いていただくなど、いなべ市の農業活性化に向け連携して取り組みます。

「三重いなべ農場」の立地する三重県北部は、冬でも晴天の日が多く肥沃な土壤にも恵まれており、キャベツや白菜など様々な作物の栽培に適しています。

また、商品の集荷・加工・店舗別出荷を行うイオンの物流センターにも近く、東海エリアのイオン店舗への配送がより効率的になることが見込まれています。

今年の9月上旬よりキャベツと白菜の露地栽培を開始し、次年度には、小松菜を施設栽培するほか、直営農場では初となるいちごの栽培を行い、いなべ市と連携しいちごのブランド化に向けて取り組みます

当農場で生産した農産物は、三重県を中心とした東海エリアの総合スーパー「イオン」50店舗、食品スーパー「マックスバリュ」約100店舗でイオンのブランド「トップバリュ」の青果やカット野菜として販売します。

イオンアグリ創造は、「イオン三重いなべ農場」のオープンを契機に、これまで以上に「安全・安心」かつ新鮮なおいしい農産物をお客さまにご提供するとともに、地域に密着した経営を推進してまいります。

【イオン三重いなべ農場の概要】

農場名称： イオンアグリ創造株式会社 イオン三重いなべ農場
所在地： 三重県いなべ市大安町梅戸字小馬場3877（農場事務所設置予定地）
生産者： イオンアグリ創造(株)所属の農場長1名、農場担当1名、パート社員20名
農地面積： 約8.36ha
栽培品目： 露地栽培：2015年より
 キャベツ 2015年9月上旬作付⇒ 12月上旬から収穫
 白菜 2015年9月上旬作付⇒ 12月上旬から収穫
施設栽培：2016年より
 小松菜 2016年9月上旬作付⇒ 11月上旬から収穫

ご参考

【イオンアグリ創造株式会社について】

商号：イオンアグリ創造株式会社
代表者：代表取締役社長 福永 庸明
本社所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
設立日：2009年7月10日
主な事業内容：青果物の生産、加工、卸売、小売
決算期：2月末日
資本金：5,000万円
株主：イオン株式会社100%

2009年7月に設立したイオンアグリ創造株式会社は、イオン直営農場の運営および農産物の生産委託に取り組むイオン株式会社の連結子会社です。地域密着経営というイオンの基本理念のもと、お客さまにご満足いただける農産物を生産・提供することや、持続可能な未来の農業に参画することを目指し、2009年9月に第1号農場を茨城県牛久市にオープンしました。キャベツ、白菜、小松菜など葉物野菜を中心に、イオンのブランド「トップバリュ」の農産物を生産し、イオングループへの供給を行っています。

また、イオン直営農場の野菜は収穫後、直接イオンの物流センターに入り店舗に配送するため、一般的な市場流通と比較して1~2日早く店頭に並び、お客さまにこれまで以上に新鮮な野菜をご提供することができます。

イオン直営農場は、このたびオープンする「イオン三重いなべ農場」を加え、北海道2カ所、東北エリアの岩手県、関東エリアの茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県で計7カ所のほか、甲信越エリアの山梨県2カ所、北陸エリアの石川県、福井県、近畿エリアの兵庫県、中国エリアの島根県、九州エリアの大分県2カ所で、合計19カ所となります。

